



週間情報



No.2821

発行日 平成28年6月1日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 電話 03(3234)1321

両会の動き

◆ 全国消防長会調査団を派遣

全国消防長会

標記について、平成28年4月14日及び16日に発生した平成28年熊本地震における経験や教訓等を今後の消防行政に反映させるため、「大規模災害、特殊災害等発生時における調査団派遣規程」に基づき、下記のとおり、被災地に調査団を派遣しました。

記

- 1 調査団派遣日
平成28年5月30日（月）から31日（火）まで
- 2 調査団派遣団体
15消防本部から33名、全国消防長会事務局
- 3 調査団班編成
(1) 5月30日（月）

調査対象消防本部	派遣消防本部		調査内容
熊本市消防局	A班	札幌市消防局	ヒアリング・意見交換
		仙台市消防局	
		さいたま市消防局	
		千葉市消防局	
		東京消防庁	
		横浜市消防局	
		名古屋市消防局	
		京都市消防局	
		大阪市消防局	
		神戸市消防局	
		広島市消防局	
		徳島市消防局	
		北九州市消防局	
		福岡市消防局（団長）	
八代広域行政事務 組合消防本部	B班	東京消防庁	ヒアリング・意見交換 石油コンビナート視察
		川崎市消防局	

※ 各班に全国消防長会事務局員が同行

- (2) 5月31日（火）

調査対象消防本部	派遣消防本部	調査内容
熊本市消防局	前記(1) 派遣消防本部	熊本市内及び益城町内視察



【地震概要説明の様子】
(熊本市消防局)



【グループ別ヒアリングの様子】
(熊本市消防局)



【消防本部でのヒアリングの様子】
(八代広域行政事務組合消防本部)



【石油コンビナートでのヒアリングの様子】
(八代広域行政事務組合消防本部)



【石油コンビナート視察の様子】
(八代広域行政事務組合消防本部)



【熊本城視察の様子】
(熊本市消防局)



【益城町の様子】
(熊本市消防局)



【益城西原消防署での調査団全体写真】
(熊本市消防局)

◆ 平成 28 年度全国消防救助技術各地区指導会日程について

一般財団法人全国消防協会

平成 28 年度全国消防救助技術各地区指導会の開催日程等についてお知らせします。

地区支部	開催日	開催場所
北海道	7 月 16 日 (土) 10:00～15:00	札幌市消防学校 札幌市西区八軒 10 条西 13 丁目
東北	(陸上の部) 7 月 29 日 (金) 9:30～15:30	八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部 青森県八戸市大字田向字松ヶ崎 7-8
	(水上の部) 7 月 14 日 (木) 13:00～16:00	宮城県総合運動公園 (グランディ 21) 宮城郡利府町菅谷字館 40-1
関東	7 月 13 日 (水) 9:00～15:30	神奈川県総合防災センター・神奈川県消防学校 神奈川県厚木市下津古久 280 番地
東海	7 月 26 日 (火) 9:15～15:00	三重県消防学校 鈴鹿市石薬師町 452 番地
東近畿	7 月 29 日 (金) 10:00～15:10	京都市消防活動総合センター 京都市南区上鳥羽塔ノ森下開ノ内 94-4
近畿	7 月 23 日 (土) 9:30～16:00	大阪市消防局高度専門教育訓練センター 大阪府東大阪市三島 2-5-43
中国	7 月 20 日 (水) 9:30～15:00	広島県消防学校及び広島市総合防災センター 広島県広島市安佐北区倉掛 2-33-1
四国	7 月 29 日 (金) 9:00～14:00	愛媛県松山市市坪西町 松山中央公園 (陸上の部) 運動広場 (水上の部) アクアパレットまつやま
九州	中 止	

※開催日時・場所は状況により変更される場合があります。

消防本部の動き

訓練・演習

◆ 解体予定の社宅を使用した火災防ぎょ訓練を実施

飛騨市消防本部（岐阜）

飛騨市消防本部では、平成28年4月25日（月）から5月12日（木）のうち9日間、解体予定の社宅（集合住宅）を地元企業から提供して頂き、実際に建物内で木材を燃焼させて火災防ぎょ訓練を実施しました。

9日間で延べ134名の職員が参加しホース延長・放水要領、屋内進入・要救助者検索・排煙等の訓練を実施し活動を検証しました。

市民の防火意識向上、建物や機器の性能向上等から、火災件数が減少するなか、現場経験が少ない若手職員もあり、有意義な訓練が実施できました。



【訓練の様子】

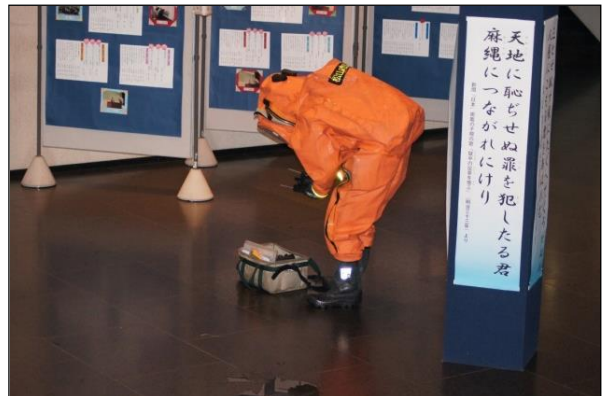
◆ 子規記念博物館でNBCテロ対応合同訓練を実施

松山市消防局（愛媛）

松山市消防局では、平成28年5月10日（火）、観光スポットである道後温泉街の子規記念博物館において、愛媛県警機動隊と連携したNBCテロ対応合同訓練を実施しました。

館内に投げ込まれたペットボトルから液体が漏れて異臭が発生し、複数名の来館者が目や喉の痛みを訴え、倒れているとの想定により、中央消防署高度救助隊と県警機動隊とが化学防護服を着装し、傷病者の救出救護、除染及び不審物の検知等の活動を行いました。

2017年の愛媛国体に備えた消防警備体制を構築するため、関係機関との訓練を継続して実施し、連携強化を図ります。



【訓練の様子】

◆ 運転総合訓練を実施

小樽市消防本部（北海道）

小樽市消防本部では、平成28年5月10日（火）から13日（金）までの4日間、小樽市市民消防防災研修センターにおいて、消防車両の運転総合訓練を実施しました。

この訓練は、施設内にクランクや縦列駐車等の仮設コースを設定し、機関員の運転技能の向上と隊員の適切な車両誘導の習得及び機関員と隊員の連携強化を目的として実施しました。

参加した隊員は、日頃から実践している運転技能や誘導マニュアルを確認しながら訓練に取り組むことで、隊全体として危険予知や周囲の状況確認、誘導の重要性を再確認することができました。

当消防本部では今後も運転総合訓練を継続して行い、隊員間の意思疎通を深め、事故防止と更なる運転技術の向上を図ります。



【訓練場仮設コースの様子】



【訓練の様子】

◆ テロ事案対処合同訓練に参加

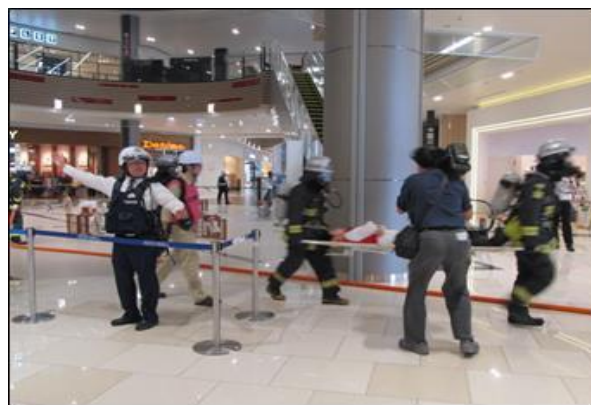
千葉市消防局（千葉）

千葉市消防局美浜消防署では、平成28年5月12日（木）、千葉県警察本部が主催するテロ事案対処合同訓練に参加しました。

管内には、国際的なイベントや会議が開催される幕張メッセがあり、東京オリンピック・パラリンピックの会場としても決定しているほか、周辺には大規模集客商業施設も点在していることから、これらの施設を標的としたテロ事案発災時の対応として、テロ災害における対応能力の向上及び警察・関係機関との円滑な連携活動体制の確立を図ることを目的として実施しました。

訓練では、イオンモール幕張新都心店及び幕張メッセの協力を得て、不審物件の爆発火災並びに爆発物容疑物件の発見に伴う避難誘導、救護訓練を実施しました。

美浜消防署では、管内の地域の特性を把握し、今後も更に関係機関との連携を強化して特殊災害に備えたいと考えています。



【訓練の様子】

◆ 出水期前ボート取扱訓練を実施

藤沢市消防局（神奈川）

藤沢市消防局では、平成28年5月18日（水）から22日（日）まで、藤沢市内公共運動施設内の屋外プールにおいて、梅雨及び台風等の出水期を迎えるにあたり、水害時における迅速な対応等、万全の体制を整えることを目的に折りたたみアルミボート及び水難救助用ゴムボートの取扱訓練を実施しました。

この訓練には、北消防署の救助隊、消防隊及び地域防災の要となる消防団員が日程を調整し参加し、アルミボート等の組立要領などの再確認後に、実際にプールに浮かべ操船訓練を行いました。

当市消防局には、南北消防署の2署があり、公共プールについてもそれぞれの管内に存在することから、今後においても、各施設の協力を得ながら、水害対応訓練等について時機を逸することなく定期的の実施する予定です。



【消防隊の操船訓練の様子】



【消防団員への訓練指導の様子】

研 修 等

◆ 平成28年度自主防災訓練指導員養成講習会を開催

柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部（大阪）

柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部では、平成28年5月15日（日）、柏羽藤組合消防団協議会主催により「平成28年度自主防災訓練指導員養成講習会」を開催しました。

消火器、AED取扱い、応急手当及び負傷者搬送訓練を実施し、柏原市消防団、羽曳野市消防団及び藤井寺市消防団の団員合計108名が受講し、自主防災訓練の指導員となるため熱心に取り組みました。

講習終了後、受講した団員には修了証が交付されました。



【講習会の様子】

◆ 海老名市女性防火推進員活動を実施

海老名市消防本部（神奈川）

海老名市消防本部では、平成28年5月18日（水）、海老名市女性防火推進員が年間活動の一環として、応急手当訓練、消火訓練及び起震車による地震体験を実施しました。

消防本部会議室において、救急隊による三角巾を使用した応急手当訓練を、市役所広場において、粉末消火器の消火訓練と起震車による地震体験を実施し、推進員の方々にとって防火、防災の知識を高めることができました。

現在58名の女性防火推進員が在籍し、当日は39名の方々が訓練に参加しました。

地域自治会会長から推薦された推進員は、このような訓練に参加することで各自治会へのフィードバックを期待しています。



【応急手当訓練の様子】

その他

◆ 和歌山県初の消防学校女性教官誕生

和歌山市消防局（和歌山）

和歌山市消防局では、平成28年3月1日付けで和歌山県消防学校に教官として県下で初めての女性職員を派遣しました。

女性教官の派遣については、女性消防職員が全国的にも増加傾向にあるなかで、和歌山県においても同様な傾向を背景に、女性ならではの視点で学生の指導を行い、フォローのできる体制を確立できるものと考え、今年度から女性職員も教官として派遣しました。

教官として派遣された松田消防士長は、「学生一人一人が思い描いている消防士になれるようサポートし、また和歌山県下の女性消防職員の職域拡大につながれば。」と意欲に燃え、和歌山県下初の女性教官として、初任教育科第40期生（女性1名を含む学生57名（県下16本部））の指導に当たっているところです。



【派遣先での様子】

◆ 人命救助活動功労者へ消防長感謝状を伝達

にしいぶり 西胆振消防組合消防本部（北海道）

西胆振消防組合消防本部では、平成28年5月12日（木）、人命救助活動功労者への消防長感謝状の伝達を行いました。

これは、4月26日（火）、管内の豊浦町で発生した住宅火災において、逃げ遅れて2階ベランダに避難していた家人男性（80代）を、その場に居合わせた4名が付近にあった脚立ハシゴを立てかけ、協力して救出したものです。

救助された男性は幸いなことに怪我もなく、住宅の火災は消防と消防団の迅速な消火活動により直後に鎮火しました。

感謝状を受け取った坂本将史さんは「当時とはにかく助けよう！という気持ちだった。無事で良かった。」と話していました。



【感謝状伝達式の様子】

◆ 高崎駅西口工事現場で消防局のPRパネルを掲出

高崎市等広域消防局（群馬）

高崎市等広域消防局では、市民及び高崎駅周辺の施設を利用する方に高崎市等広域消防局に対する理解を深めていただき、より一層の信頼と協力を得るため、高崎駅西口八島町のイオン建築工事現場において、施工主の協力を得て当消防局の職員を掲載した大型広告を作成し、掲出しました。

高崎駅周辺は昼夜を通して人通りも多く数多くの市民の目に触れることにより広告による効果が期待されています。

掲出期間は、平成28年5月から平成29年6月までの予定です。



【PRパネル掲出の様子】

◆ 消防本部の住所変更について

○ 20801 盛岡地区広域消防組合消防本部（岩手）

新住所 〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通一丁目27番55号

※ 理由 消防庁舎移転のため

平成28年6月1日から運用開始

◆ 消防本部のメールアドレス変更について

○ 31804 大島町消防本部（東京）

新メールアドレス syoubou@town.oshima.tokyo.jp

※ 理由 代表メールアドレス変更のため

平成28年6月1日から運用開始

国等の動き

報道発表

◆ 「第22回全国女性消防団員活性化北海道大会」の開催（5月27日、消防庁）

全国の女性消防団員が一堂に会し、日頃の活動やその成果を紹介するとともに、意見交換を通じて連携を深めることにより、女性消防団員の活動をより一層、活性化させることを目的として、全国女性消防団員活性化大会を北海道で開催します。

（中略）

1 日時及び場所

日時：平成28年6月3日（金）10時00分～16時00分

場所：「さっぽろ芸術文化の館」（北海道札幌市中央区北1条西12丁目）

2 大会テーマ

「今こそ女性のチカラ！！ 広がれ 女性消防団 北の大地から！」

3 内容（※詳細別紙（省略））

(1) 活動報告：活動事例発表、火災予防啓発劇等

(2) 記念講演、特別講演

4 参加人員 約3,400名

5 主催及び共催

<主催> 消防庁、（公財）日本消防協会、

第22回全国女性消防団員活性化北海道大会実行委員会（（公財）北海道消防協会）

<共催> 北海道、札幌市

<後援> 北海道市長会、北海道町村会、全国消防長会北海道支部、
（一財）消防試験研究センター、北海道新聞社

- 全文は、消防庁ホームページ
(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h28/05/280527_houdou_1.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】

国民保護・防災部地域防災室

担当：小此木課長補佐、山下係長、長堀事務官

◆ 「消防防災科学技術研究推進制度」における平成 28 年度新規研究課題の採択（5 月 30 日、消防庁）

「消防防災科学技術研究推進制度」は、消防防災行政に係る課題解決や重要施策推進のための研究開発を委託する競争的資金制度です。

平成 28 年度新規研究課題については、「科学技術イノベーション総合戦略 2015」（平成 27 年 6 月 19 日閣議決定）等の政府方針や消防防災行政における重要施策等を踏まえ、29 件の応募があり、外部有識者による評価会の審議結果に基づき、9 件を採択しました。（以下省略）

- 全文は、消防庁ホームページ
(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h28/05/280530_houdou_1.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】

総務課（消防技術政策担当）

担当：中越、小林

◆ 「平成 28 年度危険物安全週間」の実施（5 月 31 日、消防庁）

平成 28 年 6 月 5 日（日）から 6 月 11 日（土）まで、「平成 28 年度危険物安全週間」が実施されます。（以下省略）

- 全文は、消防庁ホームページ
(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h28/05/280531_houdou_1.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】

危険物保安室

担当：久芳係長、高野事務官

◆ 「平成 27 年中の危険物に係る事故の概要」の公表（5 月 31 日、消防庁）

消防庁では、全国の危険物に係る事故の発生状況について、毎年調査を実施しております。今般、「平成 27 年中の危険物に係る事故の概要」を取りまとめましたので、公表します。

- ・ 事故発生件数は減少するも、依然として高い水準で推移しています。

平成 27 年中の事故発生件数は 580 件であり、前年に比べて 19 件減少しましたが、近年、高い水準で推移しています。平成 6 年と平成 27 年を比べると、危険物施設数は約 25%減少しているにもかかわらず、事故発生件数は約 2 倍に増加しています。

また、近年、火災事故発生件数は増加傾向であり、流出事故発生件数は増減が少なくほぼ横ばいで推移しています。＜別紙（省略）の図 1 参照＞

- ・ 火災事故の発生原因は人的要因が多く、流出事故の発生原因は物的要因が多くなっています。
 - ① 火災事故については、維持管理不十分など、人的要因によるものが多くなっています。（平成 27 年中の火災事故発生件数 215 件のうち 124 件）
 - ② 流出事故については、腐食疲労等劣化など、物的要因によるものが多くなっています。（平成 27 年中の流出事故発生件数 365 件のうち 197 件）＜別紙（省略）の図 2、3 参照＞
- ・ 消防庁では、事故の状況を踏まえた事故防止対策を推進します。
上記の事故の状況等を踏まえ、危険物に係る業界団体、消防機関等により策定された「平成

28 年度危険物等事故防止対策実施要領」に基づき、事故防止対策を推進します。詳細については、消防庁ホームページ（<http://www.fdma.go.jp/>）に掲載している「危険物等に係る事故防止対策の推進について」（平成 28 年 3 月 28 日付け消防危第 45 号）

（http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi2803/pdf/280328_ki45.pdf）をご覧ください。

（以下省略）

- 全文は、消防庁ホームページ

（http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h28/05/280531_houdou_2.pdf）に掲載されています。

【問い合わせ先】
危険物保安室
担当：鈴木、山本、神山

◆ 平成 27 年中の石油コンビナート等特別防災区域内の特定事業所において発生した事故の概要の公表（5 月 31 日、消防庁）

消防庁では、毎年、石油コンビナート等特別防災区域内の特定事業所における事故の概要を取りまとめています。今般、平成 27 年中の事故概要を取りまとめたので公表します。（以下省略）

- 全文は、消防庁ホームページ

（http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h28/05/280531_houdou_3.pdf）に掲載されています。

【問い合わせ先】
特殊災害室
担当：菊地課長補佐、大川係長

※ 消防庁各課室の直通電話番号は（<http://www.fdma.go.jp/neuter/about/tel.html>）に掲載されています。

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せ下さい。

週間情報への投稿は企画課へ！

TEL 03-3234-1321 FAX 03-3234-1847 E-mail : weekly@fcaj.gr.jp

【お知らせ】

次回の週間情報は、全国消防長会総会の開催準備等のため、6 月 14 日（火）の発行となりますのでご了承ください。